

要 望 書

農業経営の存続に関する対策について



【農業用ドローン防除機】

令和5年7月
熊本県八代市
熊本県氷川町
八代地域農業協同組合

農業経営の存続に関する対策について

八代地域は、生産量日本一のトマトやい草をはじめ、ブロッコリーやキャベツ等の露地野菜、晩白柚・温州ミカン・ナシ等の果樹類の他にも生姜や茶など様々な品目が生産されています。

本年に入り、新型コロナウイルス感染症の減少傾向から、本来の経済活動が徐々に戻ってきており、生産現場においても所得向上に向けて増産体制に移行すべきところではありますが、一方で、高齢化等による農業者の減少が進行しているとともに、国内外の社会情勢の影響による農業資材の価格高騰により、生産現場は大変苦慮しております。

このように、農業経営が逼迫している状況では、農業用機械・施設等の導入や更新など、経営規模拡大等に向けた取組を実施できず、ひいては営農意欲が減退し、農業経営の存続が困難となる等、様々な問題を引き起こす要因となります。

八代地域においても、国庫補助事業や各種支援制度等を積極的に活用しながら農業者の支援を実施していますが、既存制度では、採択基準が年々高くなり、農業者の活用が困難な状況となっています。

つきましては、八代地域で生産された安全・安心な農産物を、全国に

届ける食料供給基地としての責務を果たすとともに、農業者の安定的な農業経営を存続するために、下記の事項について要望いたします。

記

1. 農業経営に必要となる施設の整備や機材の導入等について、農業者が活用しやすい採択基準による事業を新たに創設すること。

以上

令和5年7月

八代市長

中村博生

氷川町長

藤本一臣

八代地域農業協同組合
代表理事組合長

山住取二